

内部統制の推進

小田急百貨店では、社会やお客さまの信頼に応えるべく、企業の社会的責任を果たし、その信頼を確固たるものにすることが重要であると認識し、各種委員会や専門部署を設置して、内部統制システム（企業が効率的かつ適正に業務に取り組むための仕組み）を整備し、下記の取り組みを進めています。

- リスクマネジメントの推進
- コンプライアンスの推進
- 金融商品取引法に定める「財務報告の信頼性確保」の実現

■ リスクマネジメントの推進

リスクマネジメントは、リスクを把握・特定し、事前に対策を講じることで、リスクが実際に発生した際の被害を最小限に抑える仕組みです。

小田急百貨店では、地震、個人情報の漏洩などのさまざまなリスクを特定し、対策に取り組んでいます。例えば、大規模な地震が発生したときの対策として、お客さまの安全を第一に確保するための従業員行動基準である「震災マニュアル」を作成し、配布するとともに、地震が発生した際に気象庁が発信する「緊急地震速報」に対応するためのシステムを各店に導入しています。

また、食に関するリスクに対しては、定期的な衛生・表示等の検査を実施し、日々の点検を強化しています。万が一、事故が発生した場合を想定した「食品事故対応マニュアル」を策定し、迅速な対応が図れる体制を整備しています。

■ 財務報告の信頼性確保

小田急グループの主要な連結会社である小田急百貨店では、小田急グループの一員として財務報告の信頼性を確保するため、適正に定められたルールに則った業務遂行を徹底しています。

■ コンプライアンスの推進

小田急百貨店では、コンプライアンスをリスクマネジメントの一環として捉え、コンプライアンスの推進に向けた具体的な施策として、役員・従業員が遵守すべき行動基準を記載した「コンプライアンス マニュアル」を発行・配布しています。これは従業員が健全な企業活動を営む上でのガイドラインであり、あわせて、コンプライアンス研修を段階的に実施しています。また職場で、規則、ルールや各種法令等に違反するような行動、または違反に該当すると思われる行動について、職制を通じて報告・相談ができない、あるいは報告・相談したものの解決できない場合の内部通報制度として「コンプライアンス・ホットライン」を設置しています。小田急百貨店で働くすべての従業者（関係会社の従業員、お取引先の販売員を含む）が、ホットラインの意義や利用方法を正しく理解することで、コンプライアンス体制を全社的に強化できるよう、周知を図っています。

なお、職場の人間関係の悩みの解決を目的とした「ハラスメント相談ダイヤル」も設置しています。

■ ホットライン フロー図

